

日本鉱物科学会 平成22年度臨時總會記事

日時：平成23年年5月24日(火) 20:20-20:50

場所：幕張メッセ国際会議場 202

議事進行：大谷会長

一、定足数の確認

庶務幹事により出席者38名と有効委任状243通の総数281が会則第19条1項の定足数(96)を満たすことが報告され、臨時總會の成立が確認された。

一、審議事項

1. 日本鉱物科学会の運営・財政方針について

大谷会長より、学術振興会からの出版助成金の不採択、財政状況、JMPSのe-journal化アンケート結果等の状況が報告され、平成23年度予算案作成のためのA, B, C案の説明がなされた。会員からの意見を参考に今後評議員会にて方針をまとめ、9月10日に茨城大学で開催される定例總會において予算案および規約改正案を提示することが了承された。

会員からの意見

- ・図書館に入れるための紙媒体の印刷は、ぜひ継続してほしい。
- ・出版助成金は、出版経費を押さえる努力なしには、今後の採択は無理であろう。
- ・1000人規模の学会への出版助成金は、最近はほとんど不採択となっている。
- ・アンケート結果から、紙媒体の印刷を中止することはできない。デメリットも大きい。
- ・JMPSの宣伝とインパクトファクター増大のためには、エレメンツの導入は有効である。
- ・JMPSの論文の質を維持するために、英文校正費の削減はやめていただきたい。
- ・名簿は会員の消息を探したり査読を依頼する時に、よく使用する。印刷をやめるのはやむを得ないが、ネット上でパスワードを入れて閲覧できるようにならないか。
- ・永年(終身)会員制を設けてはどうか。